

自転車交通安全教室

4/21(金)に自転車交通安全教室が行われ、全校生徒、保護者の方々が参加しました。JA共済、福井警察署、スタントマンの方々に協力していただき、実際に起こりうる事故をリアルに再現していただきました。自転車に乗ることで被害者にも加害者にもなり得ること、事故の原因や防止対策を学びました。

【生徒の感想】

今回の自転車安全教室はスタントマンさん達が来てくれて実際に色々な場面での事故を再現してくれました。人形が乗った自転車に、車が勢いよくぶつかって自転車がへこんでしまい、恐怖を覚えました。スタントマンさんが今回はうまくよけたけど、普通の人だったらとても危ないと思いました。僕は今回の自転車安全教室で1つ心に残ったものがありました。それは、「みんながルールを守れば、ルールがみんなを守る」です。これからはこの学んだことを大切にしていきたいです。(1年生)

私は実際に交通事故にあったり、見たりしたことはありませんでした。今回初めてそのような場面を見て、自分はルールを守っていても、相手が良くないことをしていたり、車の死角に入ってまきこまれてしまったりすることがわかりました。自分はルールを守っているし、交通事故なんて自分の身に起こるわけないと思うのではなく、そのちょっとした気の緩みが重大事故につながってしまうことが実感できました。(2年生)

「これくらい大丈夫だろう」という気の緩みで大きな事故が発生し、自転車は被害者にも加害者にもなってしまうことがよくわかりました。交通ルールを守れば、自分たちの命を守ることにつながるということを頭に入れておきたいです。それから、ヘルメットの着用は努力義務ということになったそうですが、自分の命を守るためにも必ず着けるようにしようと思いました。今日学んだことを忘れず、これから安全に自転車に乗りたいです。

(3年生)

